

2024年10月17日

報道関係各位

「土佐ツムラの森」での教育支援活動を通じた生物多様性保全の取り組みが評価  
**林野庁「森林×ACT チャレンジ 2024」で優秀賞を受賞**  
～サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」の実現へ～

株式会社ツムラ（本社：東京港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、林野庁が主催する「森林×ACT チャレンジ 2024」の「森林づくり部門」にて、高知県越知町における自然環境保護と地域振興を目的に取り組む協働の森づくり事業「土佐ツムラの森」が優秀賞（林野庁長官賞）を受賞したことを、お知らせいたします。

「森林×ACT チャレンジ」は企業や団体が取り組んでいる森づくり活動などの森林整備に関する活動を対象として、優れた取り組みを顕彰するもので、優秀賞（森林づくり部門）には当社を含め8者が表彰されるとともに、新たに「グリーンパートナー2024」の認定を受けました。



「森林×ACT チャレンジ 2024」表彰式の様子（2024年10月9日）  
（林野庁長官 青山豊久様、当社サステナビリティ推進室長 犬飼律子）



グリーンパートナー2024 マーク

## ■ 「森林×ACT（アクト）チャレンジ」について

健全な森林を造成するための植栽、間伐等の森林整備活動に対する社会的関心を高めることを目的に林野庁が 2022 年から実施している取り組みで、企業や団体が支援をして行った森林整備等の活動を募集、取り組みに係る CO2 吸収量や取り組み内容を総合的に判断し、優れた活動を顕彰するものです。

「森林づくり部門」と「J-クレジット部門」の 2 部門が設けられ、当社は「森林づくり部門」で優秀賞に選出されました。（林野庁 HP：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/240905.html>）

## お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、吉崎  
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

自然と健康を科学する

## ■ 審査委員の講評

審査委員を務めた東京大学大学院農学生命科学研究科の龍原哲准教授からは、「生薬栽培を軸とした取り組みに特徴があり、水源<sup>かんよう</sup>涵養機能の向上だけにとどまらず、薬用植物を使った環境教育を地元の中学生に行うなど人材育成を通じた山村地域の振興にも貢献されています。今後の活動に期待しています」と、講評をいただきました。

## ■ ツムラグループの取り組みについて

漢方薬の製造・販売を行う当社の事業は、自然の恵みである生薬の栽培からはじまる「漢方バリューチェーン」によって構成されており、自然環境と深い関わりがあります。事業の根幹を成す豊かな自然環境を未来につなげていくために、また、持続可能な社会の創造に向けた社会課題の解決のために、「自然と生きる力を、未来へ。」というサステナビリティビジョンの下、「資源の循環利用（水・生薬残渣の再資源化）」「生物多様性の保全（森林・土壌・水源の涵養）」等をマテリアリティ（重要課題）に掲げ、事業活動を展開しております。



## ■ 協働の森事業「土佐ツムラの森」について

生薬栽培地の自然環境保護と地域振興を目的とした活動の一環として、国内の主要生薬栽培地の一つである高知県越知町、高知県、農事組合法人ヒューマンライフ土佐の4者間でパートナーズ協定を締結し、2008年より協働の森事業「土佐ツムラの森」に取り組んでまいりました。具体的な活動内容としては、越知町有林における植栽、間伐などの森林の整備や、林内路網の整備、森林の現況調査などの支援活動を実施し、これまで約1,770 tのCO<sub>2</sub>吸収につなげることができました。また教育支援活動として、地元の越知中学生を対象に、サステナビリティに対する意識の醸成を図るべく、漢方薬の原料となる生薬（薬用植物）の収穫・加工体験や、当社社員による出前授業、地域の薬草探しなどを実施し、これまで1000人を超える生徒の皆様にご参加いただきました。



越知町の山間を流れる仁淀川



地元中学生による生薬の収穫および加工体験の様子

2024年9月には教育プログラムの刷新を行うとともに、学習内容のさらなる充実を図るべく、高知県立牧野植物園の指定管理者である公益財団法人牧野記念財団が新たに参画し、5者間での協定を締結いたしました。これまでの生薬収穫体験に加え、横倉山でのフィールドワークを実施。高知大学や地元企業とともに開発したタブレット端末の電子図鑑（みんなの Edu-co）を活用し、教育のDX化を進めております。（土佐ツムラの森について：<https://www.tsumura.co.jp/sustainability/society/local-residents/>）



牧野植物園の職員のガイドの下、植物を電子図鑑に記録



地域の自然に触れ、サステナビリティについて学習

当社グループでは、今後もこうした活動を通じて、地域や自然を基盤とした総合的な学習から、持続的な社会の担い手である次世代の人財育成や、持続可能な自然環境の保護、生物多様性の保全に貢献できるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。

（参考情報）

■ニュースリリース「高知県・協働の森づくり事業 5者間での協定を締結」（2024年9月19日発表）

<https://www.tsumura.co.jp/news/newsrelease/item/c973201b8d6f22145695521b67b4e820.pdf>

以上